

---

## 北海道労働金庫

---

### <報告事項>

- I. 「2023年度事業計画 上期遂行状況」 について
- II. 「共生社会の実現に向けた上期取組み報告」 について

---

## 全道推進会議

---

### <報告事項>

#### I. 2023年度上期推進活動総括

上期におけるろうきん運動の推進は、北海道ろうきんが「中期経営計画（2022～2024年度）」においてコアバリューとして設定した「共生社会の実現」と「健全経営の維持」の実現に向けて、会員・推進機構が一丸となって各種取組みを進めました。

具体的には、「つなぐプロジェクト for SDG s」推進運動を基軸とし、コロナ禍の中で取組みの幅が広がった WEB 環境を活用しつつ、コロナ禍以前の対面を基本とした運動を前提とした組合員との接点強化に資する各種取組みを行うことで、ろうきんメインバンク No. 1 への取組みを展開しました。

### <重点取組項目>

#### 1. 【つなぐプロジェクト for SDG s】における「自主目標設定運動」の取組み

- (1) 【つなぐプロジェクト for SDG s】の達成にむけ「会員自主目標推進運動」を『重点取組み項目』に設定し、ろうきん運動の強化・ろうきん利用者の裾野拡大に取組みました。
- (2) 各店・出張所推進委員会においては、「会員自主目標の設定件数」が「つなぐプロジェクト会員目標」に近づくよう取組みを展開した結果、会員自主目標推進運動は9月末時点で652会員となりました。【資料1-①・②参照】

#### 2. 【生活応援運動】における「可処分所得向上運動」の取組み【資料2参照】

- (1) 『共通取組み』である【生活応援運動】の展開において、昨今の物価高騰等の状況を踏まえ、より重要性が増している家計の可処分所得向上に資する取組みを『重点取組み項目』に設定し、組合員の生活改善に取組みました。
- (2) 可処分所得向上額10億円を目標に、職域活動費を活用した学習会等による組合員への周知活動、「他行・他社高金利ローンからろうきんの低金利商品への借換推進」や「奨学金借換ローンの周知活動」によって、組合員の可処分所得向上に資する運動を展開しました。なお、自治労北海道が、奨学金の返済に苦慮する仲間の支援に加え、組織強化と次代の担い手育成につなげることを目的に、北海道労働金庫と連携の上、2022年12月に取扱いを開始した組合保証の「奨学金借換ローン」は、2023年9月末時点で、50件、1億1583万円の取組実績となりました。

## 【重点取組項目】

### ① 可処分所得向上運動

可処分所得向上額（2023年9月末時点）
【実績】3億62百万円
可処分所得向上運動に関する学習会開催実績（2023年9月末時点）
【実績】256件／6,253名

### ② 「奨学金借換ローン」「奨学金借換+αローン」周知運動

#### 【奨学金借換ローン】

奨学金借換ローン新規実績（2023年9月末時点）
【実績】33件／87百万円（前年同期比+19件／55百万円）
奨学金借換ローン累計実績（2023年9月末時点）
【実績】503件／12億20百万円（集計期間：2017年10月1日～2023年9月30日）

#### 【奨学金借換+αローン】

奨学金借換+αローン新規実績（2023年9月末時点）
【実績】8件／33百万円

### ③ 非正規雇用組合員取引拡大運動

全力応援 pack（非正規勤労者向け融資商品）新規件数（2023年9月末時点）
【実績】302件（前年同期比▲33件）

## <共通取組項目>

### 1. 「つなぐプロジェクト for SDGs」推進運動の展開【資料3-①～③参照】

- (1) ろうきんが、組合員にとって「身近な金融機関」であり、更には「一番利用される金融機関」となるよう、会員・推進機構とろうきんが一体となって、ろうきん運動の強化と利用者の裾野拡大に取り組みました。
- (2) 具体的には、「会員自主目標推進運動」を基軸として、年度当初に寄付先を選定し、地域団体への貢献と連携を進めたうえで、大会議案書での取組方針化や機関紙掲載、また執行委員会・学習会等での議題化等により、組合員へ広く知らせる活動を展開しました。
- (3) 結果として、上期末時点での同プロジェクト対象項目の預金・融資・各種サービス新規取引実績は24,680件、「北海道ろうきんATM利用件数」は735,572件、非対面項目が14,451件、ろうきん運動項目が749件、NPOとの連携項目が22件となりました。また、今年度より追加となった【ろうきん口座からのスマホ決済チャージ回数】については、100,411回となりました。利用実績やろうきん運動項目等に応じた福祉団体への寄付見込額は5,478千円（前年同期比+407千円）となりました。

【預金・融資・各種サービス実績】

No	項目	年間目標	上期実績	達成率
①	メイン化（給振・年金・公振・クレジット）	18,000	10,436	58.0%
②	預金（財形・エース・おこさま口座）	6,350	3,263	51.4%
③	融資（団体融資・手形貸付等除く）	15,427	9,553	61.9%
④	預かり資産（個人型DC新規・投信契約者増加数・国債新規）	1,684	1,428	84.8%
	合計	41,461	24,680	59.5%

【北海道ろうきん ATM 利用件数】

項目	件数
北海道ろうきん ATM 利用件数	735,572 件

※ 北海道ろうきん ATM にて入金・出金（ローンカード含む）1 回につき 1 円を寄付。

【ろうきん口座からのスマホ決済チャージ回数】

項目	件数
ろうきん口座からのスマホ決済チャージ回数	100,411 回

※ 北海道ろうきん口座からのスマホ決済チャージ回数 1 回につき 1 円を寄付。

【非対面項目実績】

項目	年間目標	上期実績	達成率
非対面（ろうきんアプリ・エコ通帳・団体 I B）	21,100	14,451	68.5%

【ろうきん運動項目実績】

No	項目	回数・会員数
①	学習会開催回数	561 回
②	議案書・機関紙への掲載会員数	188 会員
	合計	749

【NPOとの連携項目実績】

No	項目	件数
①	融資相談件数	12 件
②	NPO法人普通預金口座開設数	10 件
	合計	22 件

【会員自主目標推進運動実績】

項目	会員数
会員自主目標設定会員数	652 会員

2. 「生活応援運動」の取組み ～「生活設計」「生活改善」「生活防衛」～

(1) 「生活設計」運動の取組み

- ① 「2023 “人生 100 年時代” 未来設計スタートキャンペーン」を展開し、組合員の資産形成に取組みました。取組みにあたっては、組合員の「貯蓄」と「投資」のバランスに配慮し、特に勤労者のみが利用できる財形貯蓄制度について、資産形成における重要な「守りの資産」であることを周知に取組みました。

2023 “人生 100 年時代” 未来設計スタートキャンペーン(4月3日～12月29日)  
新規件数 (2023年9月末時点)

財形新規件数：1,947件／iDeCo新規件数：182件／  
投資信託定時定額買付(つみたてNISA含む)：630件

※ キャンペーン対象商品：「年金財形」または「iDeCo」または「投資信託定時定額買付(つみたてNISA含む)」の新規契約(適用条件有)

エース預金新規件数 (2023年9月末時点)

【新規件数】372件(前年同期比▲77件)

投資信託・国債新規件数 (2023年9月末時点)

投資信託新規件数：595件／国債新規件数：651件

- ② 退職者層の生涯取引に向けて、「退職金結集運動」を展開し、産別からの退職者情報提供(8産別)「全開発・JP労組・北教組における機関会議での取組方針化」「説明会・セミナー開催(31会員・577名)」など会員・推進機構による主体的な運動に取組みました。【資料4参照】

退職金結集金額 (2023年9月末時点)

【運動目標】87億18百万円 【運動成果】134億15百万円(目標対比+46億97百万円)

- ③ ろうきん運動の原点である「季節キャンペーン」を展開し、夏季一時金の預入について、取組みを実施しました。

2023 サマーキャンペーン実績 (6月1日～7月31日)

【定期・エース預金新規預入】16,200件・52億10百万円(2022年度比▲50件・▲4億円)

- ④ 「つなぐプロジェクト」と連動し、非対面商品・サービスの取引拡大に取組みました。

ろうきんアプリ契約件数 (2023年9月末時点)

【契約件数】9,944件【累計契約件数(2019年10月22日～2023年9月末)】71,415件

エコ通帳[通帳不発行型の普通預金口座](2023年9月末時点)

【新規件数】4,422件(前年同期比+682件)

- (2) 「生活改善」運動の取組み【資料5-①～③参照】

「可処分所得向上運動」を【重点取組項目】に設定し、ろうきんとの連携強化を図りました。また、組合員の「生活向上」に資する取組みとして、住宅ローンや轟ローン・教育ローンなどの目的ローンの周知、利用拡大に取組みました。

- ① 住宅ローン推進運動

有担保ローン新規目標額 (2023年9月末時点)

【目標】346億円 【実績】381億円(目標対比+35億円)

- (3) 「生活防衛」運動の取組み

- ① 組合員の突発的な出費に備え、「マイプラン」保有運動を展開しました。特に若年層において「マイプラン」の適用金利が優遇される「Young pack キャンペーン」の周知活動を展開しています。

Young pack キャンペーン実績 (2023年9月末時点)

【実績】631件

- ② マネートラブルや多重債務から会員・組合員を守るための運動として、動画視聴等を活用した学習会・セミナー等の開催に取り組みました。【資料6-①・②参照】

生活防衛運動に関する学習会開催回数（2023年9月末時点）

【開催回数】158件 【参加組合員数】3,382人

- ③ 多重債務に陥った組合員の相談は、北海道ろうきんの「お客様相談室」「本支店・出張所多重債務相談員」と連携し対応を行いました。

多重債務相談（2023年9月末時点）

【高金利ローン借換・多重債務相談件数】766件

### 3. 職域活動費の効果的な活用【資料7-①・②参照】

- (1) 会員による職域活動費を活用した学習会は299回、延べ6,755名の出席となり、会員組合員との接点強化が図られました(内、WEBを活用した学習会は2回となりました)。
- (2) 主に、「新人説明会」「若年層説明会」「住宅ローン等商品説明会」「資産形成に関する学習会」を目的とした活用となりました。
- (3) 取組みの結果、職域活動費の活用金額は11,937,786円となりました。

### 4. 推進機構活性化運動の展開

#### (1) 運動の基盤強化

ろうきん運動基盤拡大に向け、「大会議案書へのろうきん運動方針化」「組合機関紙への商品・サービスの掲載」「職場推進委員会の設置・活性化」【資料8参照】に取り組みました。結果として、「大会議案書へのろうきん運動方針化」は111会員、「組合機関紙への商品・サービスの掲載」は77会員、「職場推進委員会の設置数」は490会員となりました。

#### (2) 「組合員様専用サイト」の活用

ろうきんがホームページ上に開設している「組合員様専用サイト」をリニューアルし、地域・職場で工夫しながら取組んでいる各級ろうきん推進委員会の独自キャンペーン等の取組共有を図りました。また、必要に応じて同サイト内にある「ろうきん News」「機関紙用データ」を基にした教宣物の作成した他、「WEBアンケートBOX」を活用した取組みを展開した結果、当該ページへのアクセス数は3,472件となりました。

### 5. 新型コロナウイルス感染症の分類見直し後における運動の展開

新型コロナウイルス感染症の分類が「2類相当」から「5類」に見直されたことをふまえ、全道推進会議主催の「ブロック別研修会」を4ブロックで開催するため準備を進めています。

また、「連合北海道」「北海道労働者福祉協議会」が「勤労者福祉の向上」を目的に展開する「勤労者福祉向上キャンペーン」の一環として、関係団体との合同による労働福祉事業団体の利用拡大に向けた要請活動を都合23産別・1ブロック労福協（宗谷）に対し実施しました。要請活動については、引き続き、2ブロック労福協（空知・留萌）に対して実施される予定です。加えて、労福協運動の理念・歴史を継承するために開催された「全道版ウェルフェアスクール」「北部労福協『第8回労働者福祉運動の理念・歴史講座』」に参画しました。

【2023 年度ブロック別研修会開催日一覧】

対象ブロック	開催日	開催地
網走	10 月 25 日（水）～10 月 26 日（木）	北見市
宗谷・留萌	11 月 17 日（金）～18 日（土）	稚内市
後志	11 月 22 日（水）	小樽市
日胆	12 月 14 日（木）～12 月 15 日（金）	苫小牧市

6. 「ろうきん友の会」「北海道退職者連合」との連携

「ろうきん友の会」「北海道退職者連合」と「北海道ろうきん」が連携し、「年金口座移管運動」を展開した結果、ろうきんでの年金受取口座は 26,733 件（2023 年 9 月末時点）となりました。

7. 組合員とろうきんの接点拡大に向けた取組み

「団体インターネットバンキング」、「賃金控除事務支援サービス」、「QR 伝票作成システム」、「ろうきん UC 法人カード」を重点取組期間を設定のうえ推進し、会員・ろうきん双方の事務負担の軽減を図るとともに、ろうきん職員と組合員の更なる接点拡大に向けて取組み展開しました。

【重点取組期間:2022 年 12 月 1 日～2023 年 7 月 31 日】

No	項目	件数
①	団体 IB 契約数	153 件
②	賃金控除事務支援サービス契約数	231 件
③	QR 伝票印刷システム利用会員数（NPO 団体除く）	283 会員
④	ろうきん UC 法人カード契約団体数	4 団体
	合計	671 先

<協議事項>

I. 2023 年度下期推進活動方針（案）

対面による運動展開を基本としつつ、つなぐプロジェクト推進運動を基軸とした「ろうきん運動」の進展に向け、会員自主目標の設定へ向けた取組みを強化し、ろうきんメインバンク No.1 への取組みを進めます。

<重点取組項目>

1. 【つなぐプロジェクト for SDG s】における「自主目標設定運動」の取組み

- (1) 上期末の進捗をふまえ、『共通取組み』である【つなぐプロジェクト for SDG s】の達成にむけ「会員自主目標推進運動」を『重点取組項目』に設定し、ろうきん運動の強化・ろうきん利用者の裾野拡大に取組みます。
- (2) 会員自主目標の設定にあたっては、つなぐプロジェクト「会員分件数目標」⇔「会員自主目標」を目指した取組みとなるよう、ろうきん各営業店と連携します。

## 2. 【生活応援運動】における「可処分所得向上運動」の取組み

- (1) 『共通取組み』である【生活応援運動】の展開において、物価高騰等の状況を踏まえ、より重要性が増している家計の可処分所得向上に資する取組みを『重点取組項目』に設定し、組合員の生活改善に取組みを継続します。
- (2) 取組みにあたっては、引き続き、他行・他社高金利ローンからろうきんの低金利商品への借換を推進し、組合員の「可処分所得向上額 10 億円以上」を目指します。また、可処分所得向上に関する学習資料を新たに作成の上、学習会・セミナー等を通じた取組みを展開します。
- (3) 奨学金において若年層組合員の社会人になってからの返済負担が将来不安に繋がっている状況の改善に向け、「奨学金借換ローン」および「奨学金借換+αローン」の周知活動に取組みます。また、「教育ローン（奨学金借換専用）」申込者を対象とする「ろうきん団信」「がん団信」の付保取扱いについて、周知活動を展開し、万一の際の組合員およびその家族の生活保障に備えます。
- (4) 引き続き、協同組合組織や福祉事業団体との連帯により、以下のろうきん商品・サービスを重点運動項目とします。

全道推進会議・重点運動項目
① 「マイプラン」や「メンバーズローン」等を活用した高金利商品からのろうきん商品への借換の取組み
② 「奨学金借換ローン」および「奨学金借換+αローン」の周知活動の展開
③ 「全力応援 pack」の周知による非正規雇用組合員の取引拡大の取組み

## <共通取組み>

### 1. 「つなぐプロジェクト for SDGs」推進運動の展開

- (1) 「連合北海道・2023 生活アンケート」の結果分析を行った上で、引き続き、ろうきんが、組合員にとって「身近な金融機関」であり、更には「一番利用される金融機関」となるよう、会員・推進機構とろうきんが一体となって、ろうきん運動の強化と利用者の裾野拡大を目指します。また、組合員の資産形成に資する対応として「誕生日を迎えるお客様」への特別金利預金商品「バースデープラス定期預金」の推進を図ります。
- (2) 上期に引き続き、大会議案書での取組方針化や機関紙掲載、また執行委員会・学習会等での議題化等により、組合員へ広く知らせる活動をブロック労福協・産別と連携し展開します。

なお、勤労者福祉向上キャンペーンにおいて行った 23 産別へのオルグの結果、複数の産別において、職域活動費を活用した対面でのろうきん学習会が開催されており、引き続き、勤労者福祉向上キャンペーンの個別要請事項とした「重点取組項目」を学習会・セミナー等を通じ展開します。

- (3) コロナ禍により十分に教宣が行えなかった若年層組合員に対し、ろうきんが設定する「Young pack キャンペーン」「Quick (クイック) キャンペーン」などを活用し、産別・単組および地域における「組織拡大」と連動した取組みを展開します。

## 【Quick（クイック）キャンペーン】

- i. 実施期間は、2023年8月21日（月）～2023年12月31日（日）。
- ii. 条件①ろうきんダイレクトを契約、条件②エコ通帳の作成（切り替えも含む）、条件③キャッシュレス決済サービス用口座にろうきんアプリ登録口座を登録し、チャージまたは支払いした方。
- iii. 各条件を満たした場合、抽選で毎月100名、合計400名にQUOカードPayを呈します。

## 2. 「生活応援運動」の取組み ～「生活設計」「生活改善」「生活防衛」～

(1) 「生活設計」運動は、引き続き、ろうきん商品の周知活動を展開するとともに、以下の取組みをそれぞれの組織実態や組織事情を踏まえて、ろうきんと連携のうえ、取組みを展開します。

- ① 「2023“人生100年時代”未来設計スタートキャンペーン」を展開し、組合員の資産形成に取組みます。取組みにあたっては、組合員の「貯蓄」と「投資」のバランスに配慮し、特に勤労者のみが利用できる財形貯蓄制度について、資産形成における重要な「守りの資産」であることを周知する取組みを展開します。
- ② 退職者層の生涯取引に向けて、「退職金結集運動」を展開します。活動にあたっては、組合役員帯同オルグの実施や、職域活動費を活用した学習会・セミナーに取組みます。
- ③ ろうきん運動の原点である「季節キャンペーン」を展開し、冬季一時金の結集とあわせて、「お子さま口座」を中心に家族取引の拡大を目指します。
- ④ 「つなぐプロジェクト」と連動し、非対面商品・サービスの取引拡大を目指します。

### 全道推進会議・重点運動項目

- ア. 「財形預金」、「エース預金」などの積立型定期預金の推進
- イ. 退職者向け「高金利定期預金商品（年金定期・リラックス等）」の推進
- ウ. 組合員や退職者のニーズを捉えた「投資信託」・「国債」などの推奨
- エ. 「iDeCo」や「つみたてNISA」など税優遇のある積立型投資商品の推奨
- オ. 非対面サービスである「エコ通帳」「ろうきんアプリ」「ろうきんダイレクト」などの推進

(2) 「生活改善」運動の取組みについては、引き続き、組合員の「生活向上」に資する取組みとして、住宅ローンや轟ローン・教育ローンなどの目的ローンの周知、利用拡大に取組みます。また、道労福協が実施する「奨学金に関する電話相談（11月10日～11日）」において、ろうきんとも連携し、ライフサポートセンターと一体となった取組みを展開します。

(3) 「生活防衛」運動の取組みについては、それぞれの組織実態や組織事情を踏まえて、ろうきんと連携のうえ、以下の取組みを上期に引き続き展開します。

- ① 組合員の突発的な出費に備え、「マイプラン」保有運動を展開します。特に若年層にとっては、「資産形成」を進めると同時に、「マイプラン」の適用金利が優遇される「Young pack キャンペーン」の周知活動を展開します。

- ② マネートラブルや多重債務から会員・組合員を守るための運動として、動画視聴等を活用した学習会・セミナー等の開催に取組みます。
- ③ 多重債務に陥った組合員の相談は、北海道ろうきんの「お客様相談室」「本支店・出張所多重債務相談員」と連携し対応します。

お客様相談室（相談員 1 名）	
<フリーダイヤル>	0120-380-931
<住所>	札幌市中央区北 1 条西 5 丁目 3-10 本館 1F コンサルティングプラザ内

### 3. 職域活動費の効果的な活用

WEB 学習会での職域活動費の使用が可能となっていることから、上期に引き続き、積極的に活用します。なお、WEB 学習会への活用に際しては、対象人数の確認が必要なことから、事前申請の扱いとします。

<b>(1) 2023 年度職域活動費</b>	
①	年度予算 3,000 万円
②	組合員 1 人当たり活用上限 2,000 円
<b>(2) WEB 会議での活用例</b>	
①	会員が主催する WEB 会議において、各接続拠点（労組・支部単位等）の「会場・設備」に係る費用の助成。
②	WEB 会議開催の際に、接続拠点ごとに提供する「弁当代・懇親会」に係る費用の助成。

### 4. 推進機構活性化運動の展開

- (1) 地域や職場でのろうきん運動の浸透に向け、必要に応じて WEB 環境を活用するなど、本支店・出張所推進委員会への出席率向上に取組みます。
- (2) ろうきんがホームページ上にリニューアル開設している「組合員様専用サイト」を活用し、地域・職場で工夫しながら取組んでいる各級ろうきん推進委員会の独自キャンペーン等の取組共有を図ります。また、必要に応じて同サイト内にある「ろうきん News」「機関紙用データ」を基にした教宣物の作成や、「WEB アンケート BOX」を活用した取組みを展開します。

### 5. 「ろうきん友の会」「北海道退職者連合」との連携

生涯取引の確立に向け、「年金口座移管運動」を推進の柱として、「ろうきん友の会」や「北海道退職者連合」「各退職者組織」と連携した取組みを進めます。

### 6. 組合員とろうきんの接点拡大に向けた取組み

「団体インターネットバンキング」、「賃金控除事務支援サービス」、「QR 伝票作成システム」、「ろうきん UC 法人カード」を推進し、会員、ろうきん双方の事務負担の軽減を図るとともに、ろうきん職員と組合員の更なる接点拡大に向けて取組みます。

## Ⅱ. 役員の変更

下記の通り、役員を変更します。

役職	旧役員氏名	新役員氏名	所 属
幹事	瀧口 和成	池田 裕二	自治労
幹事	金子 ユリ	中川 裕美子	情報労連
幹事	及川 智広	平川 雄一	JP 労組

## Ⅲ. 今後の日程

開催日時（予定）	会議名	開催場所
2024年1月29日（月）15時	第4回全道推進会議	札幌ガーデンパレス

以上